



# 弥生っ子

学校だより 第7号  
令和7年10月31日  
千葉市立弥生小学校

## 「学び深まる秋」

校長 高山 邦美

後期が始まり、学びを深めるよい季節となりました。暑さも落ち着き、元気に校庭で遊ぶ子供たちの姿が戻ってきました。

さて、11月5日に「第60回千葉市小学校陸上大会」が青葉の森スポーツプラザ陸上競技場にて開催されます。この大会を通して陸上競技の楽しさを味わってほしいと考え、9月末より、5・6年生が学年体育と放課後練習に取り組んできました。練習を開始したときよりも、準備が早くなり、子供たちが自ら進んで練習に取り組む姿が見られるようになりました。一人一人のやる気に満ちた姿は立派です。当日は6年生が選手として出場し、より速く、より高く、より遠くを目指してベストを尽くしてくれると思います。さらに、10月31日からは水泳学習、11月18日からは業間休みを使ったマラソン週間も予定しています。全校で体力向上に向けて取り組んでいき「スポーツの秋」を充実させていきます。

次に、「読書の秋」に向けて、4年生が「おすすめしたい本をポップ（POP）で紹介しよう」、5年生が「好きな作家さんの本を読んで、キャッチコピーをつけよう」この取組の成果を図書室に掲示しました。入口には読書数を示すカラフルな星がたくさん掲示されています。また、図書ボランティアの皆様や図書館指導員の読み聞かせを通して、子供たちが本を身近に感じ、日常的に本を親しむことができています。多くの取組を通して、子供たちが新たな本と出会う機会を増やし、さらに調べ学習や言語活動を充実させていきたいと思っています。

そして給食は、旬の食材やそれを使った献立を紹介したり、楽しみながら会食ができるようにセレクト給食を行ったりしながら「食欲の秋」が感じられるように進めています。

子供たちにとって学校は大切な学びの場です。教科の学習においては、自力解決を大切にしながら、友達との共有時間に自分の言葉で伝え合うことを通して、互いに学び合う楽しさを深めています。弥生小の子供たちは、友達や先生の話に耳を傾ける力が育っています。相手の気持ちに寄り添いながら、うなずいたり、目を見て話を聞いたりする姿に、心が温かくなります。話を「聞く」ことは、思いやりの第一歩・学びが深まる第一歩です。これからも、互いの声に耳を傾ける優しい心を育てていきたいです。

最後になりますが、11月にはPTA主催の「バザー」が開催されます。子供たちのために、前期から着々と準備を進めてくださっています。また、当日もお忙しい中、たくさんの保護者の皆様のご協力をいただけますこと、感謝申し上げます。土曜参観には、子供たちの生き生きとした学習の様子をご覧いただきたいと思います。たくさんの保護者の皆様のご参観をお待ちしています。

今後とも、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



練習の様子 走り幅跳び